



# 令和5年度 水戸葵陵高等学校の入試はここが出る！

\*一般入試、チャレンジ入試の出題方針です。

教科	問題の構成	出題の内容	各教科からのアドバイス	出題範囲
英語	大問1 リスニング 大問2 語彙・文法 大問3～5 長文読解 大問6 英作文	・選択問題だけではなく、記述問題も出題する。 ・大問3～5は長文であるが、主に文脈を読み取り、筆者・話者の意図を読み取る力をみる。 ・グラフや表、資料の読み取りなど、文字以外の情報を読み取る力をみる。 ・英作文問題では、文法的な力だけではなく、自分の考えを具体的に表現する力をみる。	・文法問題を除いては、特にどの項目に限定して出題するというものではありません。そのため、中学校で学習した内容すべてに関して、苦手なところはないかを確認して、習得しておきましょう。 ・記述問題を出題するので、適切な字数で過不足なく解答できるよう練習しておきましょう。 ・日本語だけではなく、英語で記述する問題もあります。自然な英語を用いて解答できるようにしておきましょう。	東京書籍 ～P105 開隆堂 ～P105 (以下、3年生12月末までの学習範囲となる、各出版社の教科書のページです。)
国語	大問1 文学的文章 大問2 古文 大問3 説明的文章 大問4 表現・漢字	・選択問題だけではなく、記述問題も出題する。 ・生徒同士の対話や、ノートのまとめなど、本文と複数の文章を読み、対比させる出題をする。図やグラフを読み取る力をみる。 ・敬語や漢字、手紙の書き方、歴史的仮名遣いなど、基本的な知識を問う。 ・例年150字～200字程度の作文を出題していたが、令和5年度は出題しない。	・複数の文章を読み取ることが必要なため、昨年度の作文はなくなったものの、時間的な余裕はむしろ減っていると思います。内容、論旨を、すばやく読み取る練習をしましょう。 ・文章を正確に読み解き、文脈に合わせて考えていくことは変わらないため、読解力を養成する必要があります。 ・新傾向の問題ばかりにとらわれず、歴史的仮名遣いや漢字、敬語など、基本的な知識をおろそかにしないようにしましょう。 ・論述問題を出題するので、問われていることを理解して、それに合わせて簡潔な文章で答えるトレーニングを積んでおきましょう。	光村図書 ～P194 東京書籍 ～P182
数学	大問1 計算問題等の小問集合 大問2 方程式、確率、関数等の中間集合 大問3～6 図形の証明、関数、データの分析、立体図形等の問題	・選択問題だけではなく、記述問題も出題する。 ・計算問題を出題する。 ・証明問題は記述問題として出題する。 ・関数は、動点の問題や時間の経過等に関するグラフの変化の問題などを出題する。 ・データの分析は、データの読み取りや計算を出題する。 ・立体図形は、表面積や体積、線分の長さなどを求める問題を出題する。 ・三平方の定理は出題しない。	・大問1、大問2は基本事項の確認です。 ・証明問題は、図形の合同条件、相似条件を理解し論理的に証明する問題を演習しておくことが望ましいです。穴埋め問題ではなく、すべて記述での解答となるので、角の大きさや辺の長さなどを番号を用いて記述する練習をしておきましょう。 ・関数は、1次関数や $y = ax^2$ のグラフを用いて考察する問題です。問題文に書かれた条件をよく把握し、グラフを参考に解く練習をしておきましょう。 ・データの分析は、最頻値、中央値などの用語を理解しておくとともに、ヒストグラム、箱ひげ図などから読み取る練習をしておきましょう。 ・立体図形は、展開図や断面図のように、一度平面図形にしてから、図形の合同や相似を利用して解く練習をしておきましょう。	大日本図書 ～P193 東京書籍 ～P184 啓林館 ～P179
社会	大問1 地理分野 大問2 歴史分野 大問3 公民分野※ 大問4 総合問題※ (※入試体験模試の大問3と4は、地理、歴史の分野から出題します。)	・選択問題だけではなく、記述、論述問題も出題する。 ・地理、歴史、公民の各分野において、図表、年表、地図、グラフ、写真など、資料を読み取る力をみる。 ・総合問題は、地理、歴史、公民、各分野にわたって、それぞれの分野の関連性や基礎知識を総合的に問う。	・分野を問わず、図表、年表、地図、グラフ、写真などが頻出するため、基本的な知識の確認だけでなく、日頃から資料の読み取りに慣れておくことが必要です。 ・論述問題も出題するので、問われていることに対して、簡潔な文章で適切に答えるトレーニングも積んでおきましょう。	〈地理〉 〈歴史〉は全範囲 〈公民〉 東京書籍 ～P149 帝国書院 ～P144 教育出版 ～P147
理科	大問1 小問集合 大問2 物理分野 大問3 生物分野 大問4 地学分野 大問5 化学分野 大問6 総合問題	・選択問題だけではなく、記述問題も出題する。 ・大問1は小問集合で、物理、化学、生物、地学の各分野からそれぞれ2題ずつ出題する。 ・大問6の総合問題は、物理、化学、生物、地学の各分野のうち、2分野にわたって、それぞれの分野の関連性や基礎知識を総合的に問う。 ・会話文や実験、観察の結果、図表等を読み取る力をみる。 ・地学分野は、天体を出題しない。	・大問2以降は、教科書で扱われている内容について、会話文・実験・観察の結果から、図表を用いて理解、解答する問題が多いため、ただ暗記だけをするのではなく、原理・原則を正しく理解しておく必要があります。 ・論述問題も出題するので、用語の意味を正確に理解し、簡潔に解答できるように練習しておきましょう。	大日本図書 ～P238 東京書籍 ～P234